

	<p><b>地球温暖化が進むと、人類も恐竜のように絶滅するの？</b>  <b>地球温暖化防止月間講演会「恐竜とわたしたち」を開催</b>                  ～恐竜博士 真鍋真さんが化石から読み取る恐竜の生態と地球環境を解説～</p>
<p>と き</p>	<p>12月11日(日) 午前10時～正午</p>
<p>と ころ</p>	<p>練馬区豊玉北5-27-2 練馬区職員研修所 2階 研修室</p>
<p>11日、ねり☆エコ（練馬区地球温暖化対策地域協議会）は、地球温暖化防止月間講演会「恐竜とわたしたち」を開催した。</p> <p>地球温暖化対策のためのパリ協定が発行し、これまで以上に地球に優しい暮らし方が求められている中、毎年12月が同月間であることをPRするとともに、地球温暖化について考えるきっかけにしてみらおうと開催したもの。</p> <p>講演では、「恐竜博士」でテレビでもおなじみの国立科学博物館の真鍋真さんが、子供達からの事前質問に答える形で、地球温暖化による現在の気候変動と、恐竜が暮らしていた時代の地球環境の変化の大きさや速さなどを対比しながら、人間や動植物が生き残っていくために大切なことを解説した。</p> <p>当日は、国立科学博物館が所有している恐竜の爪や歯、アンモナイトや三葉虫の化石のほか、マンモスの毛、歯などを展示し、子ども達はパネルの解説を興味深そうに読み、手で触れて「固い」（小4の男子）などと歓声をあげていた。</p> <p>参加した中1の男子は「恐竜は隕石で、今は人間の活動で気候が変わっている。このままだと他の生き物が絶滅してしまいそう。家でも節電を頑張りたい。」と話してくれた。</p>	



▲講演会の様子

**【講演会】**

- ◆講演名:「恐竜とわたしたち～恐竜博士が化石から読み取る恐竜の生態と地球環境」
  - ◆日 時:12月11日(日) 午前10時～正午 ◆参加者 42組 100人(子供 54人、保護者 46人)
  - ◆講 師:国立科学博物館 標本資料センター長 真鍋 真(まなべまこと) 博士
- ※詳しくは、リンク先を参照(<http://www.nerieco.com/project/seminor161211/index.html>)

**【地球温暖化防止月間の取り組み】**

毎年12月の地球温暖化防止月間に、未来を担う子ども達に、宇宙、海、南極など様々な切り口で、かけがえのない地球の美しさ、地球の大切さを感じてもらい、温暖化対策に取り組んでもらおうと講演会を企画している。担当者は「今年は、かつて地球で反映していた恐竜が絶滅した理由と、今、地球で起きている気候変動を比べることで、より分かりやすく伝わったのではないかと話している。

**【ねり☆エコ(練馬区地球温暖化対策地域協議会)とは】**

会員は、区民団体、事業者団体、練馬区など28団体。区民や事業者にエコライフを広めることを目的として平成22年5月25日に設立。会長:横倉尚 武蔵大学名誉教授。家庭から排出される二酸化炭素の削減に向けて、地球温暖化防止のための普及啓発事業を中心に展開している。